

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 保育内容(言葉) (英文名) Nursery School Curriculum (Language)	2単位 (春 期)	(ふりがな) こみやま きよこ 担当者 小宮山 潔子 e-mail kkomiya@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要: 幼稚園教育における領域「言葉」の内容、及び子供の言語獲得の筋道を理解すること。幼稚園指導要領「言葉」について理解すること。各自自分の絵本ないし童話を作成し、発表し、批評しあうこと。		
教科書: 幼稚園教育要領(ぎょうせい)		
参考図書:		
評価法: レポート(50%) 提出作品(30%) 問題演習(20%)		
具体的評価方法等:		

【授業計画】

回数	講義テーマと概要
第1回	幼稚園教育要領について 領域「言葉」のねらい、内容、留意事項について「幼児の言葉への関心を無理なく養う」とはどういうことか。
第2回	子供の言葉獲得の筋道について。誕生から1歳頃まで。言葉、文字に関する援助のあり方について問題演習。
第3回	子供の言葉獲得の筋道について。2歳頃から3歳頃まで。言葉、文字に関する援助のあり方について問題演習。
第4回	子供の言葉獲得の筋道について。4歳頃から6歳頃まで。幼稚園全科の言葉関係の問題演習。
第5回	幼稚園における「言葉」のとらえ方について。指導ではなく援助するとはどういうことか。実際の保育場面での具体例について。
第6回	幼稚園における「言葉」のとらえ方について。環境を通して行う言葉の教育とはどういうことか。実際の保育場面での具体例について
第7回	実際の幼児への読み聞かせについて。絵本を例に用いる。子どもに何を伝えたいのか。そのためにどのようにすることが必要か。
第8回	実際の幼児への読み聞かせについて。紙芝居を例に用いる。読み聞かせ方を説明したビデオを一部用いる。
第9回	絵本ないし童話の制作 各自、以下の3回の授業のなかで自分の作品を完成させる。
第10回	絵本ないし童話の制作継続 領域「言葉」に関する実習であるから、「お話」に重点をおく。授業中に制作し、持ち帰らない。
第11回	絵本ないし童話の制作完成。早く完成した場合は各自発表の練習。本日中に作品提出。
第12回	絵本ないし童話の作品発表。各自自分の作品を発表し、友人の発表を聞く。お互いに友人の作品について意見を交換する。